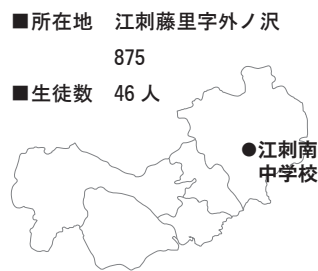




左上 / 同点で終わった江刺南中学校最後の体育祭 右上 / 銚子山や伊手川など地域をうたった校歌 左下 / 多くの思い出が生まれた体育館 右下 / コロナ禍でも伝統を絶やまいと一丸となって取り組んだ浅井神楽

豊かな自然の中で、学校・地域一体で
生徒を育み、伝統をつなぐ

江刺南中学校



昭和53年、藤里、伊手両中学校を統合し江刺南中学校が誕生しました。当初は名目のみの統合で、54年に新校舎が完成してから実質統合となり、歩み始めました。

平成24年に文部科学大臣表彰・キャリア教育優良校を受賞。教育目標の「自主・貫徹・信頼」の下、創立間もない頃から取り組み始めた浅井神楽、地域活動やボランティア活動など地域に根差した教育が行われてきました。スポーツ分野では平成2年から約10年にわたり、女子バスケとボール部が県大会で上位入賞し、東北大会に出場。平成17年には、女子ソフトボール部が全国大会に出場し、ベスト16という成績を残しています。

豊かな自然の中で地域に見守られながら成長した生徒たちには、ふるさと思える気持ちが根付いています。

郷土
芸能

生徒を見るのは楽しかった
熱心な先生方に感謝



浅井神楽保存会庭元
及川仁志さん(86)

江刺南中学校に統合して少し経った頃に「生徒に教えて欲しい」と当時の先生が来たことを思い出します。その当時は父が庭元を務めており、私は平成5年ごろから中学校に指導に行きました。ステージの上から生徒の練習の様子を見ると、一生懸命な生徒がいたり、そうでない生徒がいたり面白いなあと感じたものです。今は、直接指導をするのは他の人に譲りましたが、無くなってしまうと思うとやはり寂しいですね。絶やさずに続けてこれたのは、先生方の熱意のおかげです。これからも浅井神楽をやりたいという生徒がいたらうれしいですね。

生徒

長い登校坂から見た夕焼け
思い出は無くならない

少人数で小学校から同じメンバーで過ごしてきたので、他学年とも仲が良く、明るい雰囲気のある行動ができる生徒が多いと感じます。最後の体育祭では、紅・白組団が全力でぶつかり合った結果、397対397の同点に。学校近くに国道397号線が通っていることもあり、得点が発表されたときは驚きました。たくさんの奇跡が起きた一日でした。

この学校が大好きなので閉校になるのは寂しいですが、統合後は少人数ではできなかったこともできるようになるので楽しみにしています。



江刺南中学校生徒会副会長
及川美空さん(14)

大田代小学校

約150年の歴史を誇る伝統の学びや
地域と一体になって児童を育む



左上 / 自分たちで作った焼き芋を頬張る子どもたち 右上 / 地元の山や花などが歌詞に込められた校歌 左下 / 精いっぱい頑張った最後の運動会 右下 / 大田代子ども神楽の伝承式は地域住民にも見守られてきた



江刺地域の南東部にあり、豊かな自然に囲まれた大田代小学校。明治6年の設立以来、約150年の歴史を刻んできました。昭和50年に建てられた現在の校舎は、旧田原中学校に隣接し、見晴らしのいい高台にそびえ立っています。

大田代小学校では、通常の教育活動に加えて、地域の特性を生かし、自然に触れる活動や伝統行事の体験などにも力を注いできました。昭和56年に始まった大田代子ども神楽の伝承活動では、川内神楽保存会の協力を得ながら、40年にわたり、上級生から下級生へと受け継がれてきました。保護者や地域住民との結び付きも強く、ほぼ全戸がPTA会員となつて学校を支えています。地域と学校が一体となつて行事を開催するなど、小学校が地域の交流の場にもなっていました。

保護者

家族のような温かい学校
過ごした日々を誇りを持って



大田代小学校PTA会長
阿部一也さん(52)

PTAでも親同士で知らない人はいませんし、子どもたちも家族のように過ごしてきました。複式学級なので、先生は黒板を二つ使って、違う学年の授業を進めています。子どもたちは全員当てられますし、先生方には一人一人をきちんと見ていただいています。

私も卒業生ですが、地元には学校があるのは当然だと思っていました。聞こえてくる子どもたちの声に、地域の人も和んでいたように感じます。児童数が増えると友達も増えるので、大きい学校の良さもあります。子どもたちには、大田代小学校で学んだことを胸に、誇りを持って頑張ってもらいたいですね。

児童

自然あふれる学校が好き
ずっと心に残る大切な場所

大田代小学校の子どもたちは、みんな仲良しで元気な児童が多いです。昼休みには、全員でサッカーや鬼ごっこをすることもあります。学校の周りには自然に囲まれていて、春にはきれいな桜が咲くし、カモシカやキツネなどの動物も遊びに来ます。一番の思い出は最後の運動会です。応援合戦で、応援を自分たちでつくり上げることができました。

大田代小学校は、140年以上前にできたと聞いています。伝承活動の神楽が引き継がれてきましたが、なくなるのは少し悲しい気持ちもあります。自分を成長させてくれた学校として、ずっと心に残ると思います。



大田代小学校児童会長
佐藤帆乃佳さん(12)